

ニコニコ箱	合計	¥7,000	累計	¥259,240
-------	----	--------	----	----------

ニコニコ箱メッセージ(敬称略・順不同)

- *馬齢のみを重ね、お祝いを頂いた喜びに 北村 隆
- *傘寿の記念品を頂いたそのよろこびに 山中 卓

第1924回例会出席報告(9月3日)		
総会員数	出席者	出席率
52名	35名	74.47%
第1921回 例会補正後 出席率 84.00%		
メーク 4名	欠席 6名	除外 2名

○本日の配布物

- ①9月10日週報
- ②第21回5RC親睦ゴルフ大会のご案内

○本日の回覧物

- ①池田RC創立60周年記念誌
- ②9月例会出席予定確認表

○地区行事等出席報告

- 9/6 職業奉仕委員長会議 林宏毅
- 9/6米山セミナー 原田、小北、岡山
- 9/6市立ひらかた病院会員記念式典 上山

○地区行事等出席予定

- 9/13研修セミナー 原田、初木
- 9/20青少年奉仕正副委員長会議 田中、栗津
- 9/21北河内柔道大会開会式 田中
- 10/11枚方ライオンズクラブ30周年式典 原田

2014~15年度 クラブテーマ
『和を以て貴しとなす』

第1925回 例会

2014年9月10日(水)くずはゴルフ場

例会プログラム

9月「新世代のための月間」

- 12:30 開会点鐘
- 友情と親睦の握手
- ロータリーソング
「四つのテスト」
- お客様紹介
- お食事・歓談
- 会長の時間
- 幹事報告
- 委員会報告
・出席状況報告ほか
- 3分間スピーチ
稲田義治 会員
- 卓話
「定款について」
平尾 公介 会員
- その他
・ニコニコBOX報告
- 13:30 閉会の点鐘
- 本日の会合(敬称略)
＜歴代会長会議＞
今中、足立、北村、平尾、藤原
金森、南、山中、宮田、駕田
岩本、山口伊太郎、高島、原田
上山、岡山、中野、山口尚志

本日の歌

「四つのテスト」
真実か どうか
みんなに 公平か
好意と友情を
深めるか
みんなのためにな
るか どうか

今後の予定

9月17日(水)

- ・外部卓話
大阪府枚方警察署生活安全課
課長 香川純也 様
- ・長期計画委員会

9月24日(水)

- ・卓話「山に入り山の価値を知る」小林正彦 会員
- ・40周年実行委員会

3分間スピーチ

- 9月17日 野球同好会
- 9月24日 岩本昌治会員
- 10月1日 今中七郎会員



＜社会奉仕委員会からのお知らせ＞

＜2014献血キャンペーンチラシ配布＞

- 9月24日(水)
AM7:30～ 京阪牧野駅前にて
＜2014献血キャンペーン＞
- 9月27日(土)
献血キャンペーン 牧野生涯学習市民センター
10:00～12:00 13:00～16:00

＜2014秋の交通安全運動啓蒙活動＞

- *9月19日(金)16:00～啓発パレード
集合 15:45 イオン枚方店(旧ビオルネ)付近
パレード(約1時間)終了後解散
- *9月24日(水)7:30～くずは駅早朝キャンペーン
集合 くずは駅前
配布終了後例会場にて反省会



※参加の場合はスタッフポロシャツの着用をお願いします。この事業はすべてメイク扱いとなります。

第8回くずはRC杯枚方少年野球ジュニア大会開会式

去る2014年8月31日(日)、第8回くずはRC杯枚方少年野球ジュニア大会開会式が枚方総合体育館陸上競技場にて挙行されました。今大会も京阪神エリアから79チームが出場これから12月まで熱い戦いが繰り広げられます。



2014.11.15(土)「創立40周年記念式典・祝賀会」式典 11:00～ 祝賀会 13:00～

Rotary 発行 KUZUHA ROTARY CLUB



国際ロータリー 第2660地区
創立:1974年5月30日 承認:1974年6月25日
クラブ名称変更承認:2005年6月 6日
会長 原田 武夫
広報委員長 原 正和

〒573-1121大阪府枚方市楠葉花園町14-2
樟葉パブリックゴルフ クラブハウス2F
電話 072-855-5125 FAX 072-855-5180
Email: info@kuzuha-rc.jp
URL:http://www.kuzuha-rc.jp/

おめでとうございます!

9月入会記念日・誕生御祝



小林正彦 会員 米田 勉 会員 日野守之 会員 源本将人会員 (入会祝・誕生日祝)

9月誕生日御祝



初木賢司 会員 北村 隆 会員 上山芳次 会員 山中 卓 会員

【会長の時間】

皆さん、こんにちは。先週末は漸く涼気を覚える天候でありましたが、9月を迎えて、再び暑気がぶり返すとの報も出ておりますので、会員皆様には一層ご健康に留意され、出席を続けて下さいませよう期待しております。

本日はボーイスカウトの田畑様を迎えての例会となります。後程お話をいただけます。

去る8月31日(日)第8回くずはロータリークラブ杯枚方少年野球ジュニア大会開会式が挙行されました。幸い、好天に恵まれ、クラブより15名の皆様が登場くださいました。まことに有難うございました。近隣より79チームの小学4年生以下の選手が力強く入場行進をする光景を目にし、頼もしく思いました。12月まで熱戦が繰り広げられます。

昨日、5クラブ親睦ゴルフ大会の打合せに行っていました。10月25日枚方カントリーにて行われます。多数の御参加をお願い申し上げます。ゴルフの経験のない方も、今日から練習を始められましても十分、間に合いますのでよろしくお願い致します。

9月は新世代のための月間です。後程、青少年奉仕委員長の田中会員より、お話をいただきます。

地区の財団セミナーは8月30日にあり、初木会員、原会員が出席されました。有難うございました。地区災害支援委員会より、広島土砂災害義捐金のお願いが来ております。すでに報道でご存じかと思いますが、約1,700名の方々が、現在も避難中です。避難所生活も、長期に及ぶ模様です。仮設住宅の着工も急がれています。皆様の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上で会長の時間を終わります。

【卓話】「ボーイスカウト活動報告」

日本ボーイスカウト大阪連盟枚方第17団 団委員長 田畑興人 様

○来年は山口県キララ浜において4年に1度開かれる世界スカウトジャンボリーの開催予定。世界161の国と地域から約3万人の青少年があつまり2週間にわたってキャンプをしながら世界の仲間と体験を共有。

○連盟の組織変更予定

○後藤新平氏の名言

金を残して死ぬものは下

仕事を残して死ぬものは中

人を残して死ぬものは上



原田会長より今年度の支援金を手渡されました



原田 武夫 会長

【卓話】「私が感じた失われゆく日本の原風景」 田中一真 委員長

ニコニコキャンプの開会式に出席した時期は、8月1日の頃、長崎の佐世保殺人事件の報道で連日連夜騒がれていました。この長崎佐世保殺人事件、7月26日に女子高生が同級生を殺した殺人事件、「人を殺してみたかった」「人を解剖してみたかった」。とても勉強ができ、スポーツもでき、立派な家庭で育ち、県内有数の進学校に通う女子生徒(16)。その有能な女子生徒が、同級生を殺害しました。子どもが子どもを殺す。最悪の悲劇的犯罪です。

私がこの殺人事件を見て、不自然に思ったことがありました。みなさんも思われた方が多かったのではないのでしょうか。それは、マンションで一人暮らしをしていたということです。昨年に母親が亡くなり、父親だけの家庭ではありましたが、なぜ一人暮らしをしていたのかという疑問を感じました。

高校生の幼い頃から一人暮らしをさせるのは、非常に稀なケースであると思いますが、この時思ったのが、最近の子どもの事件や犯罪の要因になっているものは、子どもの孤立化にあるのではないかと感じました。

2014年8月7日の新聞記事によりますと、「少子化で小中学校の児童生徒はいずれも過去最少を更新したが、人間関係などを理由に年間30日以上休んだ不登校の子どもは、小中で計11万9617人と6年ぶりに増加に転じた」と記事があります。

どうして子どもが孤立するようになったのか？変化してきた時代背景を考えてみたいと思います。文明の進化とともに、ゲームやインターネット・携帯電話の普及で、子どもは一人でも容易に自分の時間を作れるようになりました。ただ、これは子どもの孤立化の直接的な原因にはなっていないようです。そこには、なくなりつつある日本の原風景が、ヒントになっているようです。

①なくなりつつある日本の原風景

「なくなりつつある日本の原風景」として、「こたつにみかん」です。家族団欒の象徴である冬の「こたつにみかん」、もはやなくなりつつあります。畳の間がなくなり、フローリングに絨毯、ソファが主流になってきました。そして「こたつでみかん」のような一家団欒の時間が減少したと言われています。そこには昭和30年代から40年代の日本の住宅様式の変化があります。個室文化が到来したことです。この個室文化の始まりは子どもの教育にとって、大きな損失になると言われていました。

なぜなら、子ども達は、一家団欒などの本来家族とのふれあいの中で人間としてあり方、生き方を学び、さらに家族という単位の中で社会性を身につけるからです。いつ学校に行ったのか、帰ったのかわからない、鍵がかかり存在すらわかりずらい子ども部屋、そして贅沢すぎる設備の快適な子ども部屋など、ますます子どもを個室に閉じこもらせて、孤立化させるといわれています。

②なくなりつつある日本の原風景

先々週の8月20日の外部卓話で、少年ラグビークラブの監督をされていたエリートアカデミー藤田塾の塾長・藤田久和さんの話を聞いて感じたことです。それは、卓話の題名でもあった「規範的な風土が子どもを育てる」という教育方針を持った、少し懐かしさを感じさせる熱血指導の方でした。まさに、「威厳のある父親」や、「町内にいるよく叱られた頑固じいさん」こういった人間像の存在も、今や失われつつある日本の原風景ではないのでしょうか。巨人の星の星飛馬の父・星一徹は、父親の威厳たっぷりの怖い存在ではなかったでしょうか。あの威厳ある父親は、現在では極少数だと思います。

本日ボーイスカウトの田畑様にお越し頂いていますが、キャンプでは必ず鬼軍曹をつくります。やさしいお兄さん・お姉さんばかりでは、キャンプの大切な規則規律が守られません。それが原因で大きな事故を招くこともあります。怖い鬼軍曹をつくっておくと、その人の顔を見ただけでピリッとします。家庭ではお父さんが、そんな役割も必要となります。

「子は親の背中を見て育つ」という言葉は、昔ながらよく言ったものです。実にこれこそが理想的な親子関係ではないのでしょうか。子供は、親のやっていることを見て、それがあたりまえのことと思って、自分の常識にしてしまいます。

現代では「一家団欒がない」「食事が終わるとそれぞれ別の部屋に行ってしまうコミュニケーションがない」親の背中が見えなくなってしまっているようです。



田中一真 委員長

